

J R 貨物による輸送品質改善・更なる役割発揮懇談会

これまでの開催経緯と今回第3回の開催趣旨について

※ H 1 9 . 3 . 5 第 1 回懇談会（懇談会の設置） 資料①

環境負荷の小さい貨物鉄道輸送は、CO2排出削減目標達成への貢献や、構造的な原油高構造や若年労働力減少下におけるモーダルシフト及び企業の環境・省エネ行動の担い手としての役割発揮への期待が益々高まっております。

この懇談会は、通運業界等とも連携を図りながら、荷主業界から具体的な指摘や提言をいただく場を作り、この場を通じて荷主の具体的なニーズやその実現のための具体的施策を明らかにして、JR貨物によるアクションプランの形で実施に移していただくという主旨で、本年3月5日に第1回懇談会を立ち上げたものであります。

※ H 1 9 . 6 . 2 6 第 2 回懇談会（16業種毎のヒアリングを踏まえ、今後の取組方針について報告） 資料②

その後、3月下旬から5月上旬にかけて、合計16業種を対象に第1回ヒアリングを実施いたしました。

ヒアリングは、国土交通省、JR貨物、全国通運連盟、通運事業者代表企業、鉄道貨物協会からなる「JR貨物役割発揮懇談会幹事会」のメンバーが16業種にわたる荷主企業の業界団体や主な企業の物流担当等の方々に意見・指摘等を伺う場として実施いたしました。

この業種別荷主ヒアリングで明らかになったニーズや指摘をしっかりと実現していくべく、幹事会において具体的方策の検討を行い、「JR貨物、通運業界、荷主業界等の連携による更なる鉄道貨物輸送ニーズ実現に向けた取り組み」をとりまとめ、懇談会報告として提案いたしました。

JR貨物においては、ヒアリング等で行われてきた議論を踏まえた形で、「輸送品質改善アクションプラン」を懇談会の場でとりまとめ、その後、公表いたしました。

※ H 2 0 . 4 . 7 第 3 回懇談会（上記取り組み方針に沿って講じた具体的施策についての発表・フォローアップ）

今回開催の懇談会におきましては、アクションプラン発表後、JR貨物、通運業界は様々な荷主ニーズ合った取り組みを行って参りましたので、これらを荷主業界の方々に発表し評価・意見等を頂いて、更なる改善につなげるとともに、これまで以上の利用を図って頂く目的で開催致します。